

◆日程 2016年10月8日(土)～10月9日(日)

◆メンバー L：河野、雫

前日の21時過ぎ瀬谷駅を出発して甲斐駒に向かう。東名からと思ったが事故のニュースで保土ヶ谷バイパスを使う。3連休なので車が多いのかと思いきや16号線に乗っても流れはまずまずだった。中央道も順調な流れで途中双葉SAに立ち寄り、朝食を調達、中央道を降りるところを模索する。思い出して須玉で降りる20号線にのる前に少し迷いコンビニで道を聞く。暗いと解らないのが余計解らない。やはり最新のナビがあればと思う。竹宇駒ヶ岳神社に向かう道でも日向山方面に間違っ進む始末だ。そんなこんなで着いたのは予定時間を大分オーバーしていた。順調なら3時間位ところを4時間もかかってしまった。

10月8日(土) 天候：曇り/雨

雨がフロントガラスに多少ついていて濡れると厄介なのでテントは止め車中で仮眠をとった。なかなか寝られなかった。朝方未明に車が何台かはいつてきていた。朝食をすませパッキングして雨具を着込み歩き始める。

吊り橋の手前の神社で登山の安全を祈願、そしてジグザグの登りを登り初めると、ものの2～30分で汗をかきだしたので衣服の調節をして歩く。やや急登を登りおえて尾根を回り込むと平坦な道に倒木が道を塞いでいた。乗り越えて進む笹の平分岐あたりで何人かのパーティーと会う。分岐から笹の葉の地帯となり八丁登りの急登である。さすがにきつい。それを過ぎると刃渡りの花崗岩でここまでの間に鳳凰三山の地蔵岳オベリスクと頂上は雲がかかっていたが富士山も望めた。

刃渡りより先は苔地帯となる。そして五合目小屋跡に到着である。コースタイム通りのペースである。ここで小休止、今度はいよいよ黒戸の核心ともいえる梯子、鎖の世界である。高度感もあり緊張するところである七丈小屋まで小ピークを越えもう一登りして到着する。

とりあえずテント場に直行すると誰もいなかった。一番奥にテントを張り終えたら雨が降ってきてタイミングが良かった。小屋に行き受付を済ませ缶ビールを買いテントでゆっくりしていると他の登山者がきて大きなテント(8人用)を張り始めた。にぎやかなパーティーであった。夕食はカレーで美味しく頂き快適なテント生活である。

CT:竹宇駒ヶ岳神社駐車場6:30⇒横手分岐8:15⇒刃渡り10:00⇒刀利天狗10:28
⇒5合目11:20～11:40⇒七丈小屋テント場12:47

10月9日(日) 天候：雨/曇り/薄日

昨日からの雨が降りつづきやむ心配はなかった。天気予報では山梨は昼ごろまで雨とこのことなので様子を観ることにした。朝食をすませて携帯と無線機にて北沢のパーティーと山田さんに連絡をとるが北沢とは連絡がとれなかったが山田さんとは8時頃つながった。かなり雨が降っていたがテントは中まで濡れずにすんだので助かった。頂上は断念することにして9時には下山することにした。そうこうして北沢ともメールで連絡がとれ我々の予定を伝え下山を始めた。

後は降りながらメールにてやり取りをしながら現在位置を北沢と山田さんとは電話で行動など把握する感じである、残念ながら無線機は役に立たなかった。登山口の神社に登山中の安全の報告をして竹宇駒ヶ岳神社駐車場で須田パーティーを待つことにした。

その間、約1時間あったので濡れたテントとかを干して乾かした。帰りは三浦屋に寄る前に

山田さんたちが尾白の湯に寄るとのことで我々もそちらに向かう。尾白の湯で集中とのかたちになった。道の駅のスーパーで買い出しをして三浦屋に向かった。夜はお酒とおでん、焼肉、さんまから揚げ、いか焼きなどの料理をいただきながら秋の夜長を談笑、登山の疲れを癒して就寝。



翌日 10 日は 3 連休のなかで一番良い天気となった。早起きした人は散歩にでたようで自分はゆっくりと起きた。布団を片付け散歩の連中も戻ってきて朝食の準備、卵納豆ごはんキノコの味噌汁で活力をつけ思い思いに荷物をまとめてごみも車に積み込み、みんなで三浦屋裏の神社と広場をのぞきついでに土俵も拝見してイチジクの身とザクロの身も拝見。そして最後に三浦屋を背景に記念写真を撮り山田さん夫妻、磯部さん、山中さんはサントリー工場へ見学に出発、我々は横浜に向けて帰った。みなさんお疲れ様でした。

CT：テント場 9:20⇒笹の平 13:08⇒駐車場 14:55

(記：河野)